

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		更生保護活動事業			担当課	人権政策課	担当係	人権政策係	管理番号	13121
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	1	一人ひとりの個性が尊重されるまちづくり			根拠法令 個別計画等	保護司法 深谷市更生保護活動事業補助金交付要綱			
	小項目	1	人権・個性が尊重される社会づくりの推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		犯罪や非行をした人の立ち直りを見守り、地域で支えていく取り組みを、保護司会及び更生保護女性会が行う。毎年7月には市も含めた3者の共催により「社会を明るくする運動」として、更生保護への理解促進や犯罪予防のための啓発活動や講演会を実施する。また、これらの活動に対する補助金を交付する。								
目的 ※何のために		犯罪や非行をした人たちの改善更生を助けるとともに、犯罪予防の啓発に努め、公共の福祉の充実を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		市民・深谷地区保護司会								
手段 ※どのように		社会を明るくする運動深谷市推進委員会を設置し、更生保護への理解促進や犯罪予防等のための啓発活動を行う。また、深谷地区保護司会が円滑に活動できるよう、研修及び啓発活動等に係る費用について助成する。								
成果 ※何を求めるか		市民の更生保護に対する理解や、犯罪予防の意識が高まる。また、保護司においては、研修等により知識を深めることで自己研鑽につながる。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☒ その他(保護司)								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	更生保護活動事業	700,000
本事業の 主な業務		・社会を明るくする運動(啓発活動)							・	
		・深谷地区保護司会への補助金交付							・	
		・深谷地区保護司会事務							・	
		・更生保護機関等との連絡調整							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		※令和7年度は決算見込み額です。						
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画								
事業費	予算(現額)	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000		
	決算額	700,000	700,000	700,000	700,000	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
		一般財源	700,000	700,000	700,000	700,000		
人件費	従事職員数(人)	0.45	0.50	0.50	0.50	0.50		
	人件費相当試算※	3,541,301	4,005,083	4,111,121	4,238,547	4,404,245		
	総事業費試算	4,241,301	4,705,083	4,811,121	4,938,547	5,104,245		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	補助金交付額		目標値	千円	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00
			実績値		700.00	700.00	700.00	700.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 2	啓発活動実施回数		目標値	回	10.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
			実績値		10.00	7.00	8.00	8.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市内の街頭啓発活動・街頭啓発パレード							
	実績値の算出式									
活動指標 3	講演会開催回数		目標値	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績値		1.00	1.00	1.00	1.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		例年の回数/ 実数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	講演会来場者数		目標値	人	150.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
			実績値		861.00	1,027.00	197.00	260.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市民文化会館大ホール定員の半数／実績							
	実績値の算出式									
成果指標 2	更生した人たちへの差別や偏見を知っている人の割合		目標値	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
			実績値		85.60	95.68	96.00	94.08		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成31年度より指標設定。 / 講演会来場者アンケート（知っている、多少知っている）							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷市、深谷地区保護司会深谷支部、4地区（深谷・岡部・川本・花園）更生保護女性会により「社会を明るくする運動深谷市推進委員会」を設置し、街頭啓発活動や講演会を目標どおり開催することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	講演会については、保護司会と調整し、会場を深谷市民文化会館小ホールとしたことから来場者数は目標を下回っている。来場者数は目標値を達成できなかったが、来場者に対して更生保護活動について周知を図ることができた。 講演会のアンケートでは「罪を犯した人々に対する差別や偏見があることを知っていますか？」という問いに対し、「知っている、多少知っている」と回答した割合が94%となっており、昨年度の96%とほぼ同様の高い水準である。引き続き更生保護活動について、継続して啓発を行っていく。
評価者			人権政策係長 田部井 理恵

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	講演会の参加申込について、電話での申し込み受付と並行して電子申請での受付を行い、市民の利便性の向上を図ると共に、職員の受付時間を短縮することができた。また、アンケートの集計はAI-OCRを利用することによって迅速に行うことができた。
評価者			人権政策係長 田部井 理恵